

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界リート・オープン」は、このたび、第72期の決算を行いました。

当ファンドは、北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第72期末(2016年9月15日)

基準価額	17,579円
純資産総額	1百万円
第67期～第72期	
騰落率	△1.9%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

世界リート・オープン

追加型投信／内外／不動産投信

作成対象期間：2016年3月16日～2016年9月15日

交付運用報告書

第67期(決算日2016年4月15日) 第70期(決算日2016年7月15日)

第68期(決算日2016年5月16日) 第71期(決算日2016年8月15日)

第69期(決算日2016年6月15日) 第72期(決算日2016年9月15日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

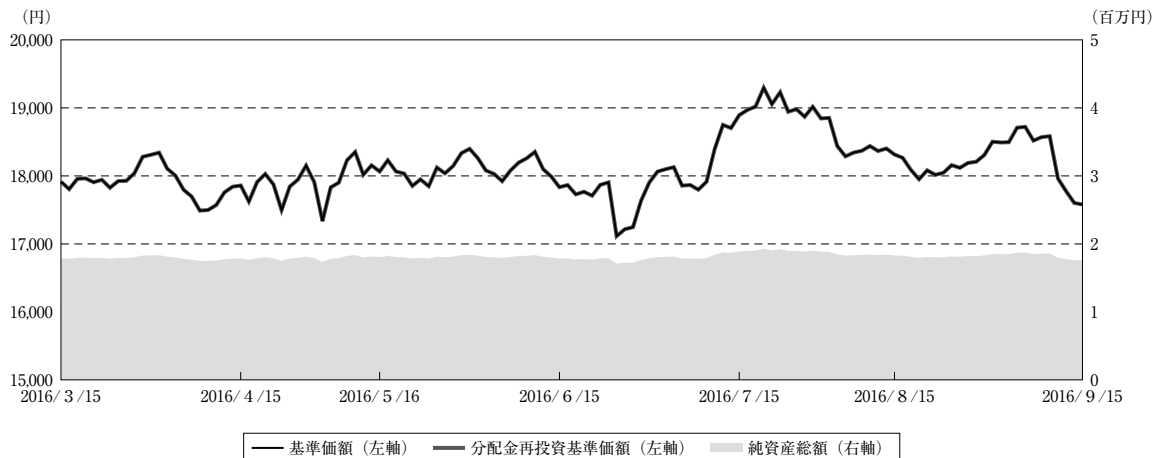
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2016年3月16日～2016年9月15日)



第67期首：17,914円

第72期末：17,579円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△1.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

○北米リート・マザーファンド

・米国のシニア・ハウジング・プロパティーズやスピリット・リアルティ・キャピタルなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

・香港の領展不動産投資信託基金（リンク・リアル・エステート・インベストメント・トラスト）やオーストラリアのミルバック・グループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

・フランスのジェシナや英国のセーフストア・ホールディングスなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

(主なマイナス要因)

○北米リート・マザーファンド

・米国のチェサピーク・ロッキング・トラストやカナダのカナディアン・アパートメント・プロパティーズなどが下落したことがマイナス寄与となりました。
・為替が対米ドルで円高となったことがマイナスに寄与しました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

・シンガポールのキャピタランド・モール・トラストやアセンダス・リアル・エステート・インベストメント・トラストなどが下落したことがマイナス寄与となりました。
・為替が対オーストラリアドルで円高となったことがマイナスに寄与しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

・英国のグレイト・ポートランド・エステイツやオランダのベーロルドハファーなどが下落したことがマイナス寄与となりました。
・為替が対ユーロや対イギリスポンドで円高となったことがマイナスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2016年3月16日～2016年9月15日)

項目	第67期～第72期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 157	% 0.855	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(100)	(0.544)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(50)	(0.272)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	46	0.249	(b) 売買委託手数料 = 作成期間中の売買委託手数料 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(46)	(0.249)	
(c) 有価証券取引税	7	0.038	(c) 有価証券取引税 = 作成期間中の有価証券取引税 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(7)	(0.038)	
(d) その他費用	8	0.041	(d) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(7)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合計	218	1.183	
作成期間中の平均基準価額は、18,339円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、当ファンドの信託報酬率は、作成期間中に引き下げを行いましたので、上記では当作成期末の信託報酬率を使用しています。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

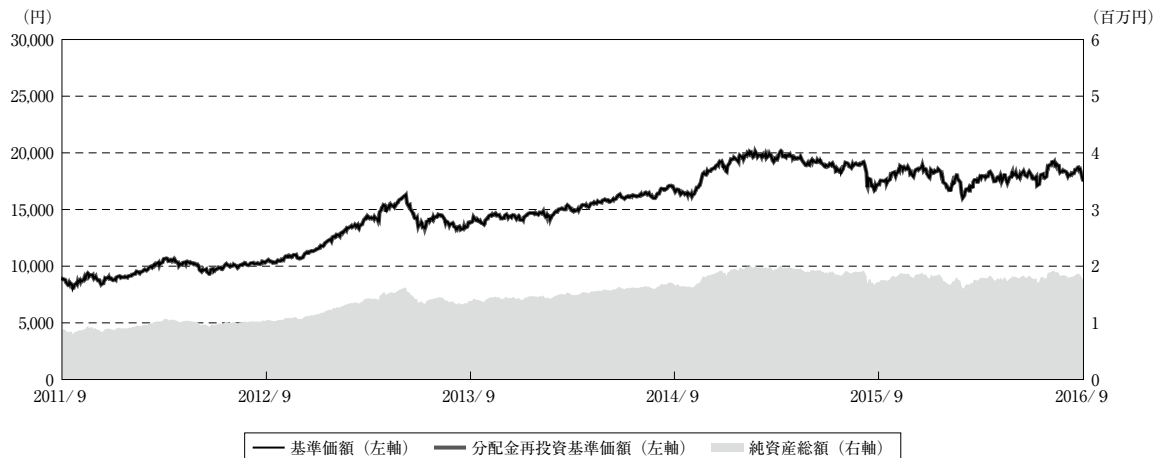
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年9月15日～2016年9月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2011年9月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年9月15日 期初	2012年9月18日 決算日	2013年9月17日 決算日	2014年9月16日 決算日	2015年9月15日 決算日	2016年9月15日 決算日
基準価額 (円)	8,746	10,564	13,905	16,556	17,235	17,579
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	20.8	31.6	19.1	4.1	2.0
FTSE NAREIT Equity TR Index騰落率 (%)	-	28.4	2.5	13.9	3.9	20.5
S&P/ASX 200 A-REIT Index騰落率 (%)	-	25.7	8.6	7.7	12.2	12.6
FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index騰落率 (%)	-	16.6	7.0	18.2	18.3	△1.2
純資産総額 (百万円)	0.874581	1	1	1	1	1

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

(2016年3月16日～2016年9月15日)

米国のリート市場は、米連邦準備制度理事会（F R B）議長が講演で利上げの判断は慎重にするべきとの考えを示したことなどが好感され、3月末にかけて、堅調な展開となりました。その後は、金融政策を巡り方向感が定まらない中、5月まで一進一退の値動きとなりました。6月以降は、良好な景気指標を受けて、景気への不透明感が後退したことなどから、上値を試す展開となりました。しかし8月以降は、F R B幹部が相次いで利上げに前向きな姿勢を示したことなどをを受けて、利上げへの警戒感から長期金利が上昇し、リーートの資金調達費用の増加懸念が強まったことから、軟調な展開となりました。

オーストラリアのリート市場は、原油や鉄鉱石相場が上昇基調となり、資源関連企業の業績低迷に対する警戒感が後退したことに加え、低インフレを背景に追加利下げ観測が高まり、7月まで上値を試す展開となりました。しかし8月以降は、豪中央銀行は追加利下げを実施したものの、声明で先行きの利下げ姿勢が示されなかったことなどが嫌気され反落する動きとなりました。9月中旬にかけても、豪中央銀行が政策金利を据え置き、同総裁が会見で経済情勢に対して楽観的な見方を示したことなどをを受けて、追加利下げ期待が後退し、下落基調が続きました。

ヨーロッパのリート市場は、英国の大手リーートの好決算などをを受けて、5月まで底堅い展開となりました。その後は、英国の欧州連合（E U）離脱を巡り方向感が定まらない中、一進一退の値動きとなりましたが、6月下旬に国民投票で英国のE U離脱が決定したことから、投資家のリスク回避姿勢が拡がり急落しました。7月以降は、英中央銀行が金融緩和を示唆したことなどから、景気の先行き不透明感が後退し、反発する展開となりました。しかし、9月に入ってから、欧州中央銀行（E C B）が資産買い入れ策の期間延長を見送ったことなどをを受けて、追加金融緩和への期待が後退し、反落する動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年3月16日～2016年9月15日)

<世界リート・オープン>

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の各受益証券の組入比率は、合計で概ね90%以上で推移させました。

○北米リート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

北米の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、資金の流出入に合わせて国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

米国のリアルティ・インカムやデューク・リアルティなどを全て売却した一方、米国のベリートやナショナル・ヘルス・インベスターズなどを新規に買い付けました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

オセアニア／アジア各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

オーストラリアのアストロ・ジャパン・プロパティ・グループやウエストフィールドなどを全て売却した一方、オーストラリアのグロースポイントプロパティーズ・オーストラリアや日本の森トラスト総合リート投資法人などを新規に買い付けました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

リートの組入比率は、5月まで90%以上で推移させましたが、英国のEU離脱を巡る金融市場の混乱を勘案し、6月に80%未満まで引き下げました。その後は、欧州リート市場が反発する展開となったことから、組入比率を引き上げ、8月以降は90%以上の水準を維持しました。

ヨーロッパ各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

英国のイントゥ・プロパティーズやスペインのマーリン・プロパティーズSOCIIMIなどを全て売却した一方、英国のプライマリー・ヘルス・プロパティーズなどを新規に買い付けました。

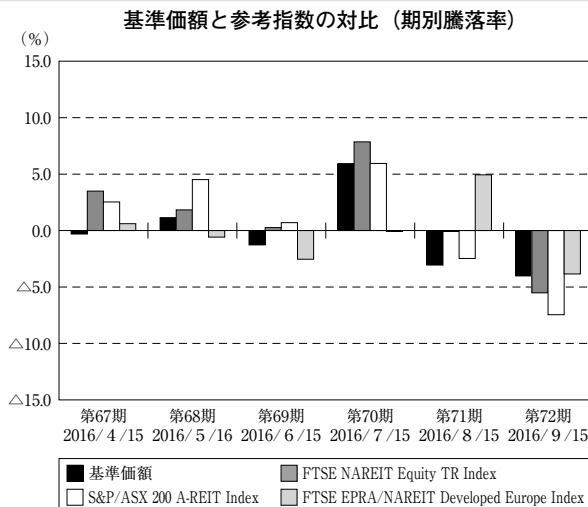
(為替)

組入外貨建資産につきましては、当ファンドおよび「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」とも、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年3月16日～2016年9月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexです。

分配金

(2016年3月16日～2016年9月15日)

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。当作成期間は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指す観点から、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
(対基準価額比率)	— %	— %	— %	— %	— %	— %
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	10,576	10,667	10,703	10,785	10,824	10,865

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国のリート市場は、長期金利上昇による悪影響は限定的でリーートの堅調な業績が続くと見込まれることから、戻りを試す展開になると予想します。足元で市場予想を下回る経済指標が散見されることから、利上げペースは緩やかになるとみられ、長期金利の上昇余地は限定的になると考えられます。このためリーートの資金調達費用の増加に対する警戒感は後退すると考えます。また、企業は景気拡大を背景にオフィス拡張や新規出店の動きを活発化させると考えられ、商業用不動産に対する好調なテナント需要が見込まれます。一方、供給面では、景気の先行きに対して慎重姿勢をとっている銀行が商業用不動産ローンの貸出基準を厳格化していることにより、不動産開発投資を抑える要因になると考えられ、供給量の増加は限定的にとどまると考えます。良好な需給環境を背景にリーートの保有物件では賃料の増額改定が進むとみられ、リーートの業績は拡大基調が続くと考えます。

オーストラリアのリート市場は、緩和的な金融政策の継続や底堅い不動産価格の推移が相場を下支える要因になると考えられ、持ち直す展開になると予想します。海外投資家を中心とした堅調な投資需要を背景に商業用不動産の価格は上昇基調で推移しています。同国の商業用不動産は相対的に保有利回りが高く、景気回復に伴う賃貸需要の増加を背景に賃料の上昇も期待できることから、今後も海外投資家の旺盛な投資需要が見込まれます。よって、リーートの純資産価値の算定根拠となる不動産価格は底堅く推移すると予想します。また、豪中央銀行の総裁に就任したロウ氏はこれまでの緩和的な金融政策を継続するとみられ、リーートの良好な資金調達環境が維持されると考えます。

ヨーロッパのリート市場は、英国の先行きに対する過度な懸念は後退すると思われることに加え、リーートの底堅い業績が相場を下支えるとみられ、堅調な展開になると予想します。英国では、ポンド安を受けた外国人訪問者数の増加が商業施設の店舗販売を下支える要因になると考えられ、安定的なテナント需要が続くと考えます。また、英中央銀行は追加利下げを示唆しており、リーートの資金調達費用の低減が期待され、リーートの業績に対する過度な警戒感は後退すると考えます。ユーロ圏では、オフィス需要は、堅調な内需を背景に回復が続くドイツのほか、企業の収益性の改善を背景に低迷していたフランスでも回復感が強まると考えます。一方、新規供給が少ないことから、需給改善を背景に賃料は底堅く推移するとみられ、オフィスビルに投資するリーートの業績は底堅く推移すると予想します。

(運用方針)**<世界リート・オープン>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。

なお、今後の各マザーファンドへの投資割合は、以下のとおりにする予定ですが、投資環境の変化に応じて、投資割合を見直してまいります。

北米リート・マザーファンド	65.0%程度
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	28.0%程度
ヨーロッパリート・マザーファンド	7.0%程度

○北米リート・マザーファンド

当ファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しており、北米のリート等の運用は同社が行っています。同社では四半期ごとに戦略投資委員会を開催し、長期的な見通しに基づき北米各国の投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップアプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

当ファンドの外貨建資産および不動産投資信託証券の運用指図に関する権限をドイチェ・オーストラリア・リミテッドに委託しており、オーストラリア、アジア等のリート等の運用は同社が行っています。中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップアプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

当ファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限をドイチェ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（イギリス）リミテッドに委託しており、ヨーロッパのリート等の運用は同社が行っています。同社では中長期的な見通しに基づき、各市場への投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップアプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

お知らせ

・金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。

また、ファンドが組入れているマザーファンドの運用指図に関する権限の委託先の運用委託報酬が引き下げとなり、これに伴いファンドの信託報酬率の引き下げを行うための約款の変更を行いました。

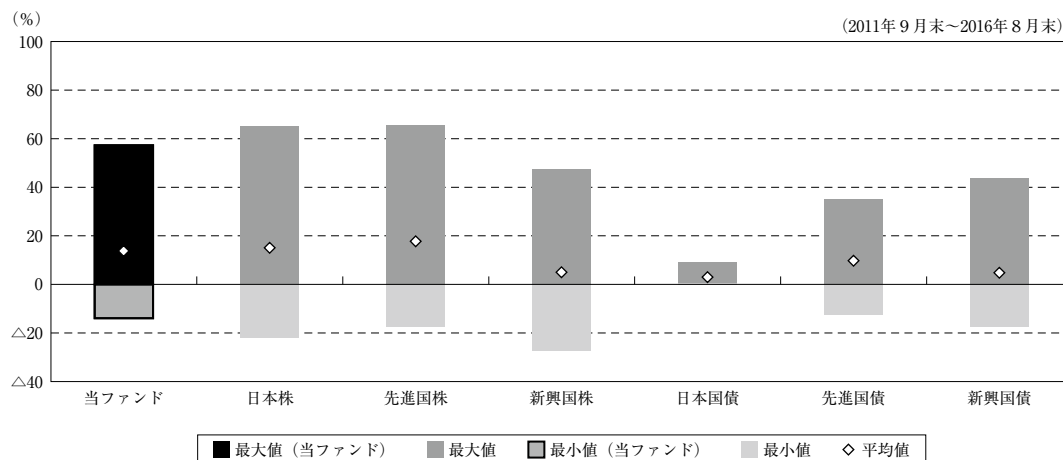
(実施日：2016年6月10日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2010年9月22日から2020年9月15日までです。	
運用方針	北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）の各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	各マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。また、不動産関連のETFに直接投資することもあります。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	各マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、ドイチュ・オーストラリア・リミテッドに外貨建資産および不動産投資信託証券についての運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、ドイチュ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（イギリス）リミテッドに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国債
最大値	57.3	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△13.9	△22.0	△17.5	△27.4	0.5	△12.3	△17.4
平均値	13.8	15.0	17.7	5.0	2.9	9.7	4.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年9月から2016年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年9月15日現在)

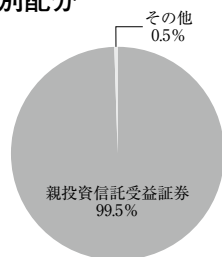
○組入上位ファンド

銘柄名	第72期末
	%
北米リート・マザーファンド	64.8
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	28.2
ヨーロッパリート・マザーファンド	6.5
組入銘柄数	3銘柄

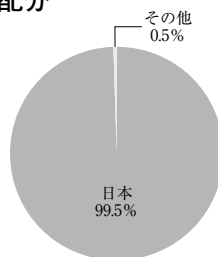
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

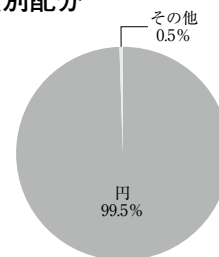
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

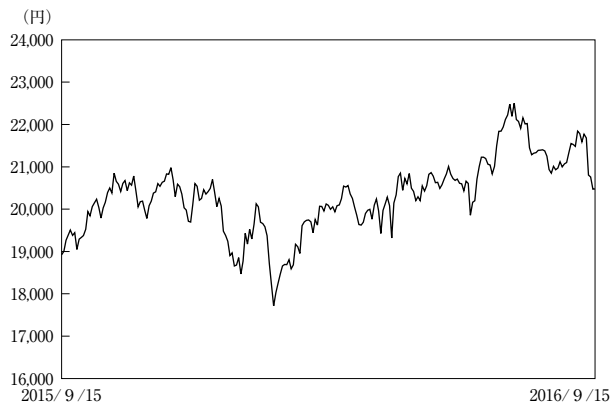
項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2016年4月15日	2016年5月16日	2016年6月15日	2016年7月15日	2016年8月15日	2016年9月15日
純資産総額	1,785,905円	1,806,369円	1,783,442円	1,889,270円	1,831,539円	1,757,856円
受益権総口数	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口
1万口当たり基準価額	17,859円	18,064円	17,834円	18,893円	18,315円	17,579円

(注) 当作成期間(第67期～第72期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

組入上位ファンドの概要

北米リート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年9月16日～2016年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	79 (79)	0.387 (0.387)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	1 (1)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (1)	0.046 (0.042) (0.005)
合計	89	0.436
期中の平均基準価額は、20,535円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年9月15日現在)

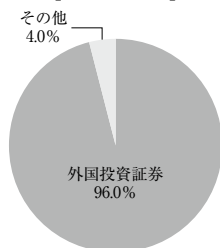
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8
2	VENTAS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.5
3	VEREIT INC	投資証券	米ドル	アメリカ	5.3
4	SENIOR HOUSING PROP TRUST	投資証券	米ドル	アメリカ	5.3
5	NATL HEALTH INVESTORS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.9
6	HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	投資証券	米ドル	アメリカ	4.8
7	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.0
8	CHARTWELL RETIREMENT RESIDEN	投資証券	カナダドル	カナダ	3.2
9	STORE CAPITAL CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	3.0
10	AGREE REALTY CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	2.8
組入銘柄数		35銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

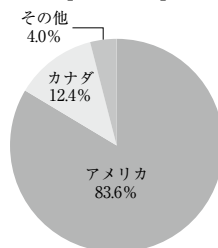
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

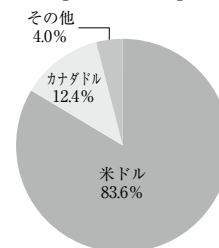
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

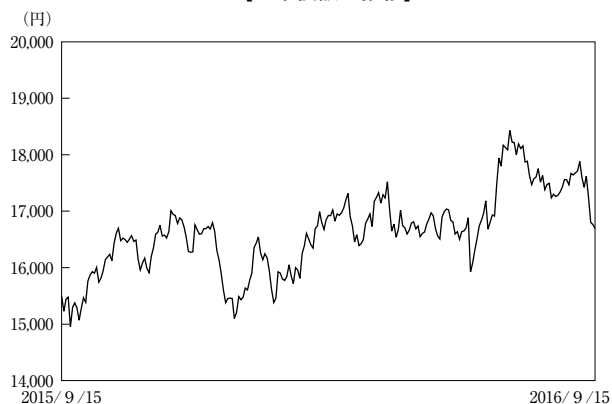
(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年9月16日～2016年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	30 (30)	0.179 (0.179)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	7 (7)	0.044 (0.044)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	21 (21) (0)	0.128 (0.126) (0.001)
合計	58	0.351
期中の平均基準価額は、16,748円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年9月15日現在)

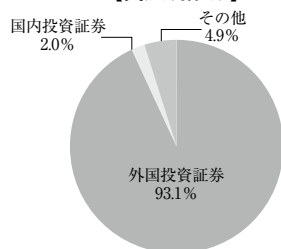
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MIRVAC GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.7%
2	LINK REIT	投資証券	香港ドル	香港	8.5%
3	VICINITY CENTRES	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.1%
4	GPT GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.9%
5	SCENTRE GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.8%
6	STOCKLAND	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.3%
7	DEXUS PROPERTY GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.5%
8	INVESTA OFFICE FUND	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.2%
9	GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.0%
10	CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	4.8%
組入銘柄数		19銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

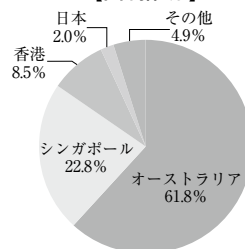
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

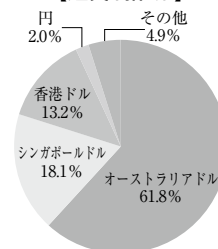
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

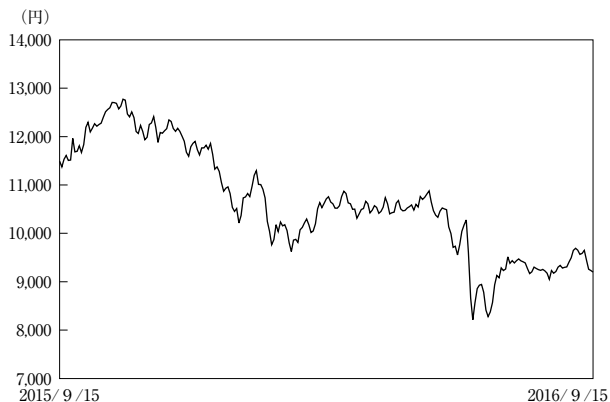
(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

ヨーロッパリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2015年9月16日～2016年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	54 (54)	0.506 (0.506)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	44 (44)	0.408 (0.408)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	17 (17) (0)	0.162 (0.161) (0.001)
合計	115	1.076
期中の平均基準価額は、10,779円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年9月15日現在)

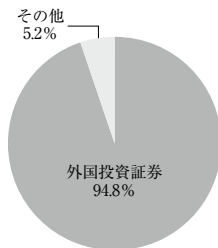
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	SEGRO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	9.0
2	UNIBAIL-RODAMCO SE	投資証券	ユーロ	フランス	8.8
3	WERELDHAVE NV	投資証券	ユーロ	オランダ	8.7
4	KLEPIERRE	投資証券	ユーロ	フランス	8.6
5	GECINA SA	投資証券	ユーロ	フランス	7.9
6	BRITISH LAND CO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	7.8
7	LAND SECURITIES GROUP PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	7.0
8	GREAT PORTLAND ESTATES PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	6.4
9	FONCIERE DES REGIONS	投資証券	ユーロ	フランス	5.4
10	ICADE	投資証券	ユーロ	フランス	5.0
組入銘柄数		19銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

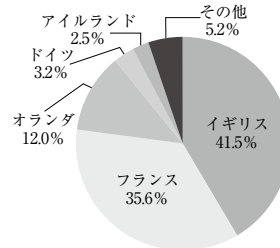
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

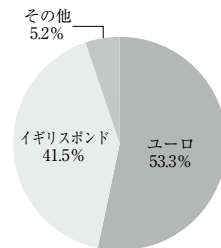
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE NAREIT Equity TR Indexは、FTSE Groupが発表する米国リートの代表的な指数です。配当を考慮したトータルリターン・ベースで、1971年12月31日を100として算出しています。

S&P/ASX 200 A-REIT Indexは、オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成されるA S X 200のうち、不動産関連証券で構成される指数です。

FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは、FTSE Groupが算出する指数で、売買高の大きいヨーロッパの不動産関連証券によって構成されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。